

図 調査位置図

ボーリング柱状図

調査名 新西部学校給食センター造成用地調査業務

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	No. 2	調査位置	愛知県岡崎市筒針町 地内			北緯	34° 57' 5.4154"									
発注機関	岡崎市			調査期間	令和 2年 11月 9日 ~ 2年 11月 12日			東経	137° 8' 14.987"							
調査業者名	葵コンサルタント株式会社 電話 (0564-22-7058)		主任技師	石川仁司		現代場人	石川仁司		コア者	河野弘之		ボーリング責任者	早川哲史			
孔口標高	H=13.10m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	カノーKR05H型		ハンマー落下用具	半自動型	
総掘進長	30.45m	度			向			エンジン	NFD9型		ポンプ	カノーV6型				

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (月日)		
									深	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)		深					度	度
								(m)	0	10	20	0	10	20	30	(m)				
1	11.30	1.80	1.80	砂質シルト	暗灰褐色	軟らかい	上部は、耕作土 (砂質シルト) である。又、全体に微細砂が多く混入する。含水は、中位である。粘性は、中〜大位である。	11/9 1.86	1.15	1	1	1	3	30	3					
2	9.80	1.50	3.30	礫混じり砂	淡灰褐色	中ぐらい	含水は、中〜大位である。礫は、φ2〜10mm位の細礫が点在する。	11/9 1.86	2.15	4	5	6	15	30	15					
3	9.40	0.40	3.70	シルト混じり細砂	灰		含水は、中位。砂は、細砂〜中砂が主体である。	11/9 1.86	3.45	3	4	3	10	30	10					
4	8.95	0.45	4.15	粗中砂	淡灰		含水は、中位。少量の細粒分が混入する。	11/9 1.86	4.15	1	1	1	3	30	3					
5	8.35	0.60	4.75	砂質粘土	暗灰	軟らかい	含水は、中位。粘性は、大位である。砂は、微細砂が主体である。	11/9 1.86	5.15	3	4	5	12	30	12	4.80				
6	6.90	1.45	6.20	シルト質細砂	暗灰	中ぐらい	含水は、中位。砂は、微細砂が主体である。比較的均一である。	11/9 1.86	6.15	2	1	1	4	30	4	5.80				
7	6.30	0.60	6.80	シルト質粘土	暗灰	軟らかい	含水は、中位。粘性は、大位である。	11/9 1.86	6.45	4	5	6	15	30	15					
8	5.20	1.10	7.90	シルト質細砂	暗灰	中ぐらい	含水は、中位。上部は、シルト分が多く見受けられる。	11/9 1.86	7.15	4	5	6	15	30	15					
9	4.40	0.80	8.70	粗中砂	淡灰	中ぐらい	含水は、中位。少量のシルト分が見受けられる。又、部分的に細砂が混入する。	11/9 1.86	8.15	7	7	8	22	30	22					
10	2.20	2.20	10.90	シルト質細砂	暗灰	緩い	含水は、中位。全体にシルト分が混入する。又、比較的均一である。	11/9 1.86	8.45	9.15	2	2	3	7	30	7				
11	1.30	0.90	11.80	シルト	暗灰褐色	軟らかい	含水は、中位。粘性は、中位である。比較的均質なシルトである。	11/9 1.86	9.45	10.15	2	3	2	7	30	7				
12	0.40	0.90	12.70	シルト質細砂	暗灰褐色	中ぐらい	含水は、小〜中位。GL-12.30〜12.70m間は、砂分の割合が多く見受けられる。	11/9 1.86	10.45	11.15	1	1	1	3	30	3				
13				粗中砂	灰	中ぐらい	含水は、中〜大位である。少量のシルト分が見受けられる。	11/9 1.86	11.45	12.15	4	5	5	14	30	14				
14	-0.85	1.25	13.95	粗中砂	灰	中ぐらい	含水は、中〜大位である。少量のシルト分が見受けられる。	11/9 1.86	12.45	13.15	7	7	8	22	30	22				
15	-2.60	1.75	15.70	シルト混じり中細砂	淡灰	中ぐらい	含水は、比較的多い。砂は、細砂が主体である。又、部分的に粗砂が混入する。	11/9 1.86	13.45	14.15	8	8	8	24	30	24				
16	-3.10	0.50	16.20	砂質シルト	暗灰		含水は、中位。比較的均質なシルトである。	11/9 1.86	14.45	15.15	9	10	11	30	30	30				
17	-4.00	0.90	17.10	シルト質細砂	淡灰		含水は、中位。砂は、細砂が主体である。又、中砂が見受けられる。	11/9 1.86	15.45	16.15	5	6	7	18	30	18				
18	-5.50	1.50	18.60	シルト混じり中細砂	淡灰	中ぐらい	含水は、中〜大位である。少量の粗砂が混入する。	11/9 1.86	16.45	17.15	6	7	9	22	30	22				
19	-6.10	0.60	19.20	礫混じり砂	淡灰		含水は、中位。砂は、粗砂〜細砂である。少量のシルト分が混入する。	11/9 1.86	17.45	18.15	7	7	7	21	30	21				
20	-6.65	0.55	19.75	シルト	暗灰		含水は、中位。粘性は、中位。	11/9 1.86	18.45	19.15	4	3	2	9	30	9				
21	-7.65	1.00	20.75	シルト質微細砂	淡灰	中ぐらい	含水は、中位。全体にシルト分が見受けられる。	11/9 1.86	19.45	20.15	3	4	3	10	30	10				
22				礫混じり砂	淡灰	中ぐらい〜密な	含水は、中〜大位である。礫は、φ5〜40mm位の角礫が点在する。又、GL-21.95〜22.80m間は、礫分の割合が少ない。少量のシルト分が混入する。	11/9 1.86	20.45	21.15	10	10	10	30	30	30				
23	-10.50	2.85	23.60					11/9 1.86	21.45	22.15	7	8	9	24	30	24				
24				砂混じり砂	灰	密な	含水は、小位である。礫は、φ2〜40mm位の亜角〜角礫が主体である。又、Max φ70mm位の礫が点在する。マトリックスは、細砂である。又、礫分が不規則に混入する。礫径もバラバラに混入する。	11/9 1.86	22.45	23.15	9	10	12	31	30	31				
25								11/9 1.86	23.45	24.15	17	13	10	40	30	40				
26	-13.55	3.05	26.65					11/9 1.86	24.45	25.15	12	13	11	36	30	36				
27								11/9 1.86	25.45	26.15	13	11	14	38	30	38				
								11/9 1.86	26.45	27.15	19	38	3	60	21	86				

27	-14.36	0.50	27.10		砂礫	淡灰		含水は、大位。礫は、10~50mm位の角礫が主体である。	27.15	16	22	22	60	67						
28					シルト混じり微細砂	暗灰	非常に密な	含水は、小~中位である。砂は、微細砂が主体である。比較的均一である。又、全体に、シルト分が多く混入する。	27.42	18	23	19	60	75						
29								又、全体に、シルト分が多く混入する。GL-29.00m以深から含水は、中位である。又、シルト分の割合が少なくなる。	28.15			4	24							
30	-17.71	3.35	30.45						28.39											
									29.15	15	17	19	51	51						
									29.45				30							
									30.15	16	18	20	54	54						
									30.45				30							

4.5 室内土質試験

室内土質試験は、基本的な土質及び液状化を把握する目的で実施した。試験結果の詳細は、巻末資料の室内土質試験記録に示す。

1. 物理試験

試料番号 (深さ)		3.2 2.15~2.45m	3-4 4.15~4.45m	3-6 6.15~6.45m	3-11 11.15 ~ 11.45 m	3-14 14.15 ~ 14.45 m	3-18 18.15~18.45m	3-19 19.15 ~ 19.45 m
粒 度	石分 (75 mm以上) %							
	礫分 ¹⁾ (2~75 mm) %	0.0	0.0	9.8	0.0	11.8	0.0	0.0
	砂分 ¹⁾ (0.075~2 mm) %	33.0	53.3	85.4	84.8	81.0	70.9	14.8
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075 mm) %	67.0	46.7	4.8	15.2	7.2	29.1	85.2
	粘土分 ¹⁾ (0.005 mm未満) %							
	最大粒径 mm	2	2	9.5	2	9.5	2	0.85
	均等係数 U_c							
地質区分	Ac	As	As	Ds1	Ds1	Ds1	Dc	
コン シ ン テ ン シ ン 特 性	液性限界 W_L %	45.1						68.3
	塑性限界 W_P %	24.1						39.6
	塑性指数 I_P	21.0						28.7
分 類	地盤材料の 分類名	砂質粘土	シルト質砂	分級された礫混 じり砂	シルト質砂	細粒分混じり砂	シルト質砂	砂まじりシルト
	分類記号	(CLS)	(SM)	(S-GP)	(SM)	(S-FG)	(SM)	(MH-S)

○ 沖積砂質土 (As) 3 試料

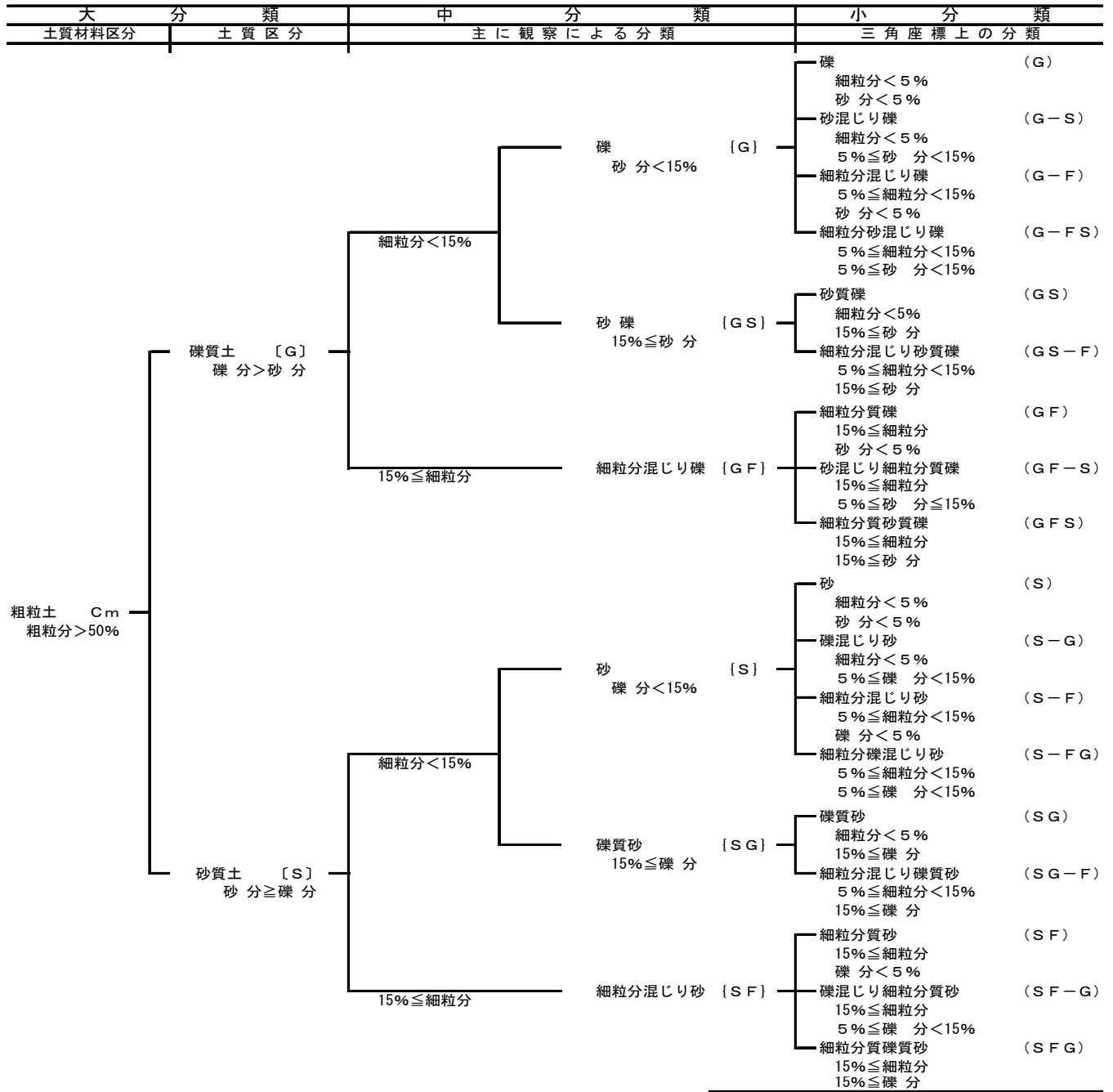
- ・ 粒度組成は、礫分が 0~9.8%、砂分 33.0~85.4%、細粒分が 4.8~67.0% で日本統一土質分類による砂質粘土、シルト質砂、分級された礫混じり砂 (図 4.5.1) である。
- ・ 液性限界 45.1%、塑性限界 24.1%、塑性指数 I_P 21.0 である。

○ 洪積砂質土 (Ds1) 3 試料

- ・ 粒度組成は、礫分が 0~11.8%、砂分 70.9~84.8%、細粒分が 7.2~29.1% で日本統一土質分類によるシルト質砂、細粒分礫まじり砂 (図 4.5.1) である。

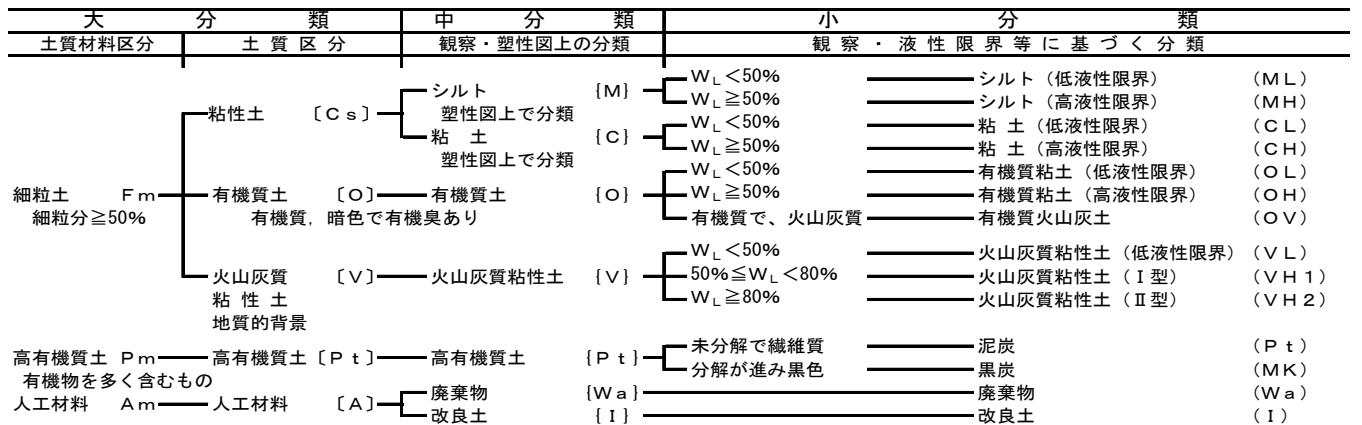
○ 洪積粘性土 (Dc)

- ・ 粒度組成は、礫分が 0%、砂分 14.8%、細粒分が 85.2% で日本統一土質分類によると (MH-S) に分類される砂まじりシルト (図 4.5.1) である。
- ・ 液性限界 W_L は、68.3%、塑性限界 W_P は、39.6%、塑性指数 I_P は、28.7 である。



注) 含有率%は土質材料に対する質量百分率

(A) 粗粒土の工学的分類体系



(B) 主に細粒土の工学的分類体系

図4.5.1 土の工学的分類体系 (社) 地盤工学会

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務

整理年月日

令和2年11月27日

整理担当者

河野弘之

試料番号 (深 さ)		3-2 (2.15m~2.45m)	3-4 (4.15m~4.45m)	3-6 (6.15m~6.45m)	3-11 (11.15m~11.45m)	3-14 (14.15m~14.45m)	3-18 (18.15m~18.45m)
一般	湿潤密度 t g/cm ³						
	乾燥密度 d g/cm ³						
	土粒子の密度 s g/cm ³						
	自然含水比 w_n %						
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒 度	石分 (75 mm 以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2 ~ 75 mm) %	0.0	0.0	9.8	0.0	11.8	0.0
	砂分 ¹⁾ (0.075 ~ 2 mm) %	33.0	53.3	85.4	84.8	81.0	70.9
	シルト分 ¹⁾ (0.005 ~ 0.075mm) %	67.0	46.7	4.8	15.2	7.2	29.1
	粘土分 ¹⁾ (0.005 mm 未満) %						
	最大粒径 mm	2	2	9.5	2	9.5	2
	均等係数 U_c	---	---	4.6	---	6.4	---
	50% 粒径 D_{50} mm	---	0.083	0.73	0.19	0.58	0.13
	20% 粒径 D_{20} mm	---	---	0.39	0.1	0.2	---
	10% 粒径 D_{10} mm	---	---	0.19	---	0.12	---
コン シス テ ン シ	液性限界 W_L %	45.1	NP		NP		NP
	塑性限界 W_P %	24.1	NP		NP		NP
	塑性指数 I_P	21.0	--		--		--
分 類	地盤材料の 分類名	砂質粘土 (低液 性限界)	シルト質砂	分級された礫ま じり砂	シルト質砂	細粒分礫まじり 砂	シルト質砂
	分類記号	(CLS)	(SM)	(S-GP)	(SM)	(S-FG)	(SM)
圧 密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 P_c kN/m ²						
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	破壊歪 f %						
せん 断	試験条件						
	全応力	c kN/m ²					
		c' kN/m ²					
	有効応力	c' kN/m ²					
強度増加率 S_u/p							

特記事項 :

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料
に対する百分率で表す。[1kN/m² 0.0102kg/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務

整理年月日

令和2年11月27日

整理担当者

河野弘之

試料番号 (深 さ)	3-19 (19.15m-19.45m)				
一般	湿潤密度 t g/cm ³				
	乾燥密度 d g/cm ³				
	土粒子の密度 s g/cm ³				
	自然含水比 w_n %				
	間隙比 e				
	飽和度 S_r %				
粒 度	石分 (75 mm 以上) %				
	礫分 ¹⁾ (2 ~ 75 mm) %	0.0			
	砂分 ¹⁾ (0.075 ~ 2 mm) %	14.8			
	シルト分 ¹⁾ (0.005 ~ 0.075mm) %				
	粘土分 ¹⁾ (0.005 mm 未満) %	85.2			
	最大粒径 mm	0.85			
	均等係数 U_c	---			
	50% 粒径 D_{50} mm	---			
	20% 粒径 D_{20} mm	---			
10% 粒径 D_{10} mm	---				
コン シス テ ン シ	液性限界 W_L %	68.3			
	塑性限界 W_P %	39.6			
	塑性指数 I_P	28.7			
分 類	地盤材料の 分類名	砂まじりシルト (高液性限界)			
	分類記号	(MH-S)			
	試験方法				
圧 密	圧縮指数 C_c				
	圧密降伏応力 P_c kN/m ²				
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²				
	破壊歪 f %				
せん 断	試験条件				
	全応力	c kN/m ²			
		c' kN/m ²			
	有効応力	c kN/m ²			
c' kN/m ²					
強度増加率 S_u/p					

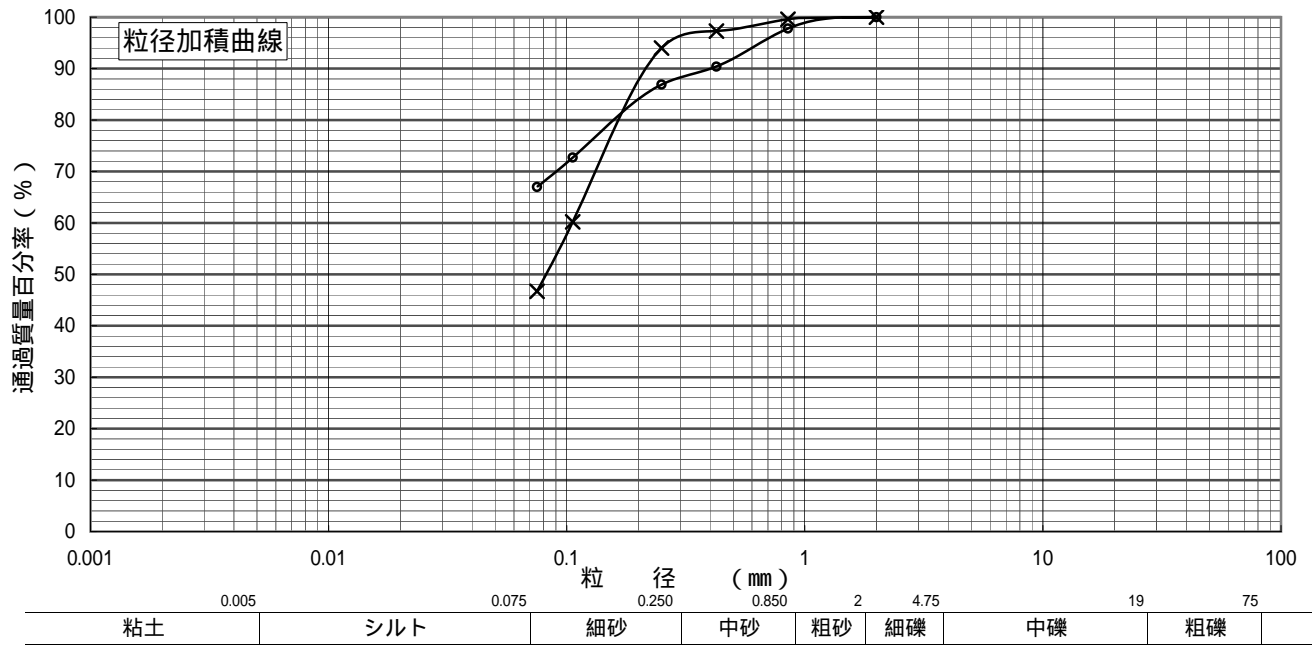
特記事項：

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料
に対する百分率で表す。[1kN/m² 0.0102kg/cm²]

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務 試験年月日 令和2年11月25日

試験者 河野弘之

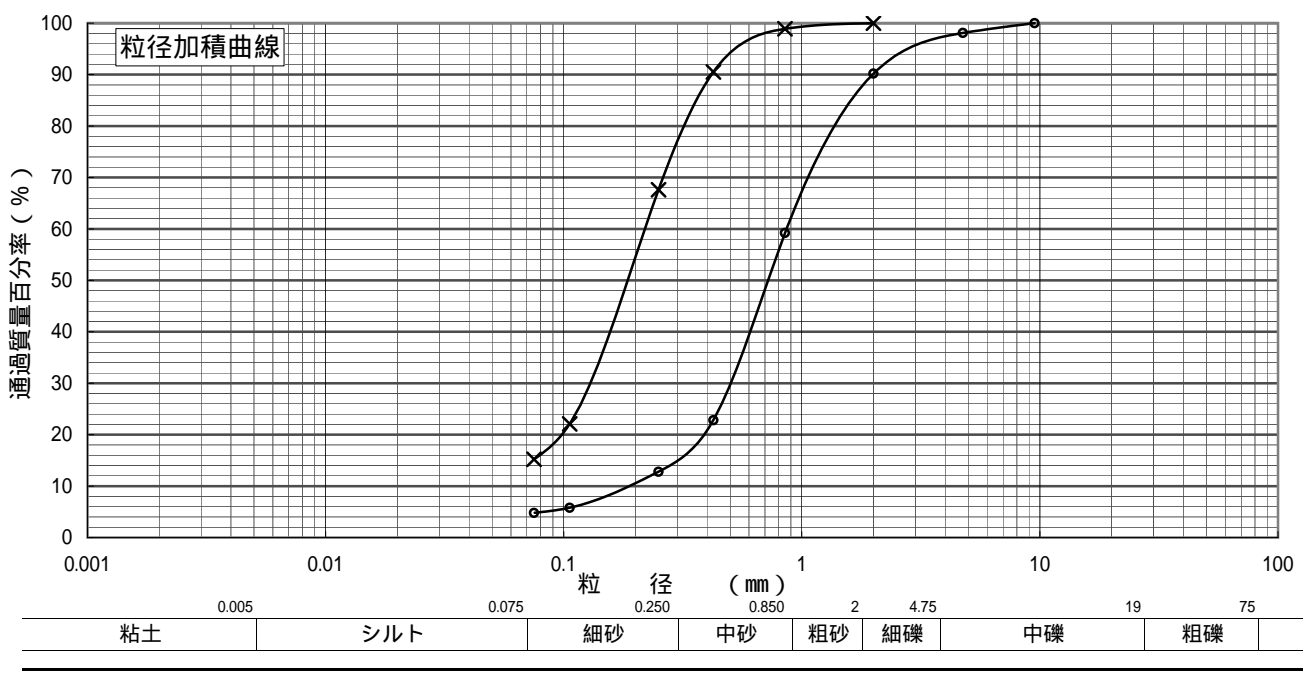
試料番号 (深さ)	3-2 (2.15m ~ 2.45m)		3-4 (4.15m ~ 4.45m)		試料番号 (深さ)	3-2 (2.15m ~ 2.45m)		3-4 (4.15m ~ 4.45m)	
	粒径mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	0.0	0.0	0.0
ふるい分析	75		75		中 礫 分 %	0.0	0.0	0.0	0.0
	53		53		細 礫 分 %	0.0	0.0	0.0	0.0
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	2.2	0.4	2.2	0.4
	26.5		26.5		中 砂 分 %	10.9	5.6	10.9	5.6
	19		19		細 砂 分 %	19.9	47.3	19.9	47.3
	9.5		9.5		シルト 分 %	67.0	46.7	67.0	46.7
	4.75		4.75		粘 土 分 %				
	2	100.0	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0	100.0	100.0
	0.85	97.8	0.85	99.6	425μmふるい通過質量百分率 %	90.4	97.3	90.4	97.3
	0.425	90.4	0.425	97.3	75μmふるい通過質量百分率 %	67.0	46.7	67.0	46.7
	0.25	86.9	0.25	94.0	最大粒径 mm	2	2	2	2
	0.106	72.7	0.106	60.2	60% 粒径 D ₆₀ mm	---	0.11	---	0.11
	0.075	67.0	0.075	46.7	50% 粒径 D ₅₀ mm	---	0.083	---	0.083
	沈降分析					30% 粒径 D ₃₀ mm	---	---	---
					20% 粒径 D ₂₀ mm	---	---	---	---
					10% 粒径 D ₁₀ mm	---	---	---	---
					均等係数 U _c	---	---	---	---
					曲率係数 U _c '	---	---	---	---
					土粒子の密度 s g/cm ³				
					使用した分散剤				
					溶液濃度、溶液添加量				
				記号				×	



調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務 試験年月日 令和2年11月25日

試験者 河野弘之

試料番号 (深さ)	3-6 (6.15m ~ 6.45m)		3-11 (11.15m ~ 11.45m)		試料番号 (深さ)	3-6 (6.15m ~ 6.45m)		3-11 (11.15m ~ 11.45m)		
	粒径mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	0.0	0.0	0.0	
ふるい分析	75		75		中 礫 分 %	1.9		0.0		
	53		53		細 礫 分 %	7.9		0.0		
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	31.0		1.1		
	26.5		26.5		中 砂 分 %	46.4		31.3		
	19		19		細 砂 分 %	8.0		52.4		
	9.5	100.0	9.5		シルト 分 %	4.8		15.2		
	4.75	98.1	4.75		粘土 分 %					
	2	90.2	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %		90.2		100.0	
	0.85	59.2	0.85	98.9	425μmふるい通過質量百分率 %		22.8		90.5	
	0.425	22.8	0.425	90.5	75μmふるい通過質量百分率 %		4.8		15.2	
	0.25	12.8	0.25	67.6	最大粒径 mm		9.5		2	
	0.106	5.8	0.106	22.1	60% 粒径 D ₆₀ mm		0.88		0.22	
	0.075	4.8	0.075	15.2	50% 粒径 D ₅₀ mm		0.73		0.19	
	沈降分析					30% 粒径 D ₃₀ mm		0.51		0.13
						20% 粒径 D ₂₀ mm		0.39		0.1
					10% 粒径 D ₁₀ mm		0.19		---	
					均等係数 U _c		4.6		---	
					曲率係数 U _c '		1.6		---	
					土粒子の密度 ρ _s g/cm ³					
					使用した分散剤 溶液濃度、溶液添加量 記号				×	

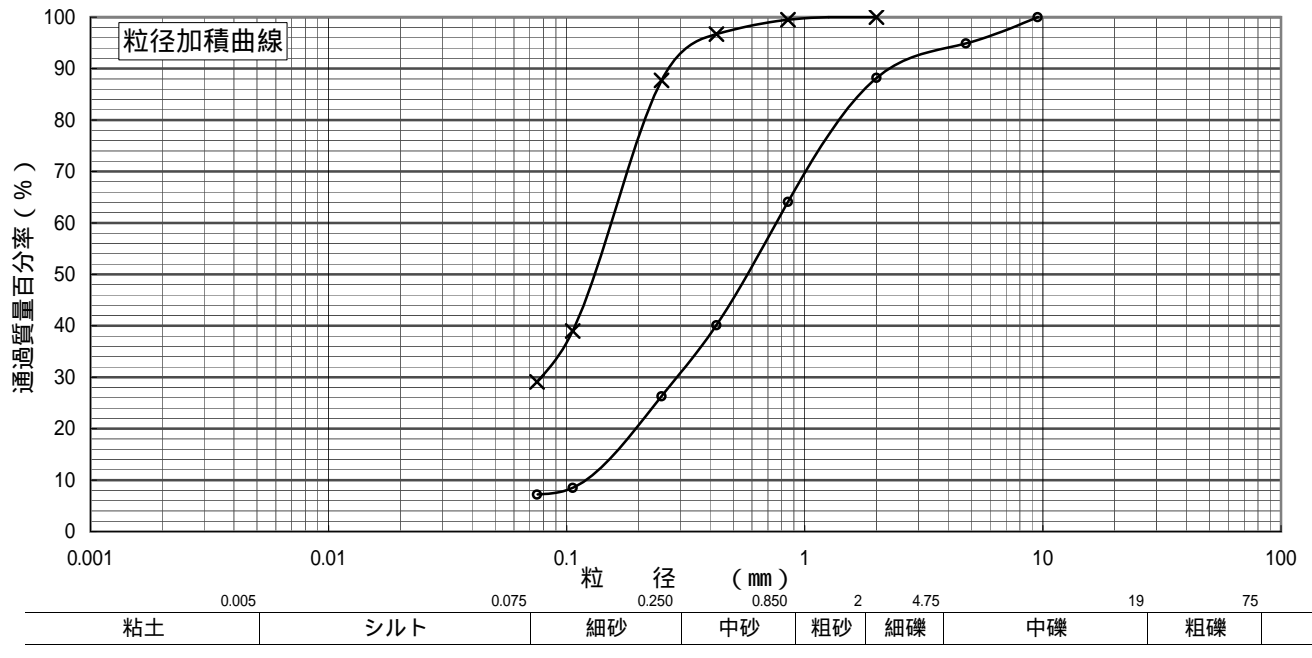


JIS A 1204	土の粒度試験 (粒径加積曲線)
JGS 0131	

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務 試験年月日 令和2年11月25日

試験者 河野弘之

試料番号 (深さ)	3-14 (14.15m ~ 14.45m)		3-18 (18.15m ~ 18.45m)		試料番号 (深さ)	3-14 (14.15m ~ 14.45m)		3-18 (18.15m ~ 18.45m)	
	粒径mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	0.0	0.0	0.0
ふるい分析	75		75		中 礫 分 %	5.1	0.0		
	53		53		細 礫 分 %	6.7	0.0		
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	24.1	0.5		
	26.5		26.5		中 砂 分 %	37.8	11.8		
	19		19		細 砂 分 %	19.1	58.6		
	9.5	100.0	9.5		シルト 分 %	7.2	29.1		
	4.75	94.9	4.75		粘 土 分 %				
	2	88.2	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	88.2	100.0		
	0.85	64.1	0.85	99.5	425μmふるい通過質量百分率 %	40.1	96.7		
	0.425	40.1	0.425	96.7	75μmふるい通過質量百分率 %	7.2	29.1		
	0.25	26.3	0.25	87.7	最大粒径 mm	9.5	2		
	0.106	8.5	0.106	39.0	60% 粒径 D ₆₀ mm	0.77	0.15		
	0.075	7.2	0.075	29.1	50% 粒径 D ₅₀ mm	0.58	0.13		
	沈降分析					30% 粒径 D ₃₀ mm	0.29	0.079	
					20% 粒径 D ₂₀ mm	0.2	---		
					10% 粒径 D ₁₀ mm	0.12	---		
					均等係数 U _c	6.4	---		
					曲率係数 U _c '	0.91	---		
					土粒子の密度 ρ _s g/cm ³				
					使用した分散剤 溶液濃度、溶液添加量 記号				×



JIS A 1204	土の粒度試験 (粒径加積曲線)
JGS 0131	

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務

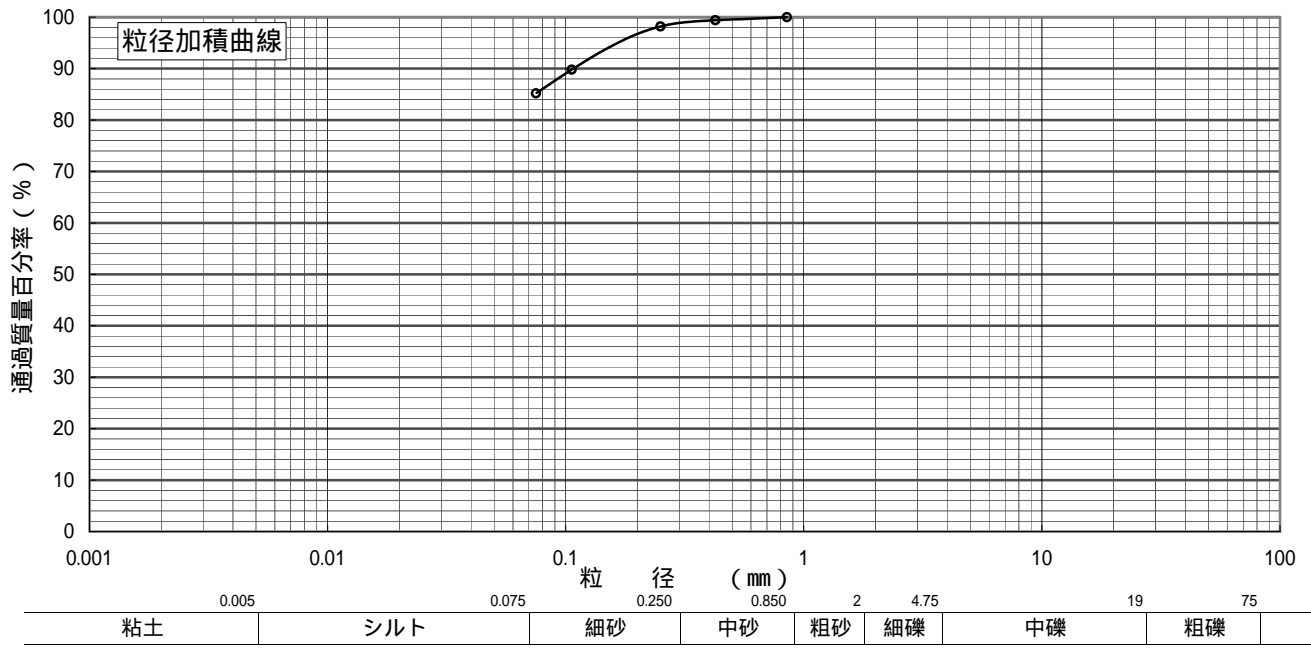
試験年月日

令和2年11月25日

試験者

河野弘之

試料番号 (深さ)	3-19 (19.15m ~ 19.45m)				試料番号 (深さ)	3-19 (19.15m ~ 19.45m)	
	粒径mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	0.0
ふるい 分析	75		75		中 礫 分 %	0.0	
	53		53		細 礫 分 %	0.0	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	0.0	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	1.8	
	19		19		細 砂 分 %	13.0	
	9.5		9.5		シルト 分 %	85.2	
	4.75		4.75		粘 土 分 %		
	2		2		2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	
	0.85	100.0	0.85		425 μmふるい通過質量百分率 %	99.4	
	0.425	99.4	0.425		75 μmふるい通過質量百分率 %	85.2	
	0.25	98.2	0.25		最大粒径 mm	0.85	
	0.106	89.8	0.106		60 % 粒径 D ₆₀ mm	---	
	0.075	85.2	0.075		50 % 粒径 D ₅₀ mm	---	
	沈 降 分 析					30 % 粒径 D ₃₀ mm	---
					20 % 粒径 D ₂₀ mm	---	
					10 % 粒径 D ₁₀ mm	---	
					均等係数 U _c	---	
					曲率係数 U _c '	---	
					土粒子の密度 s g/cm ³		
					使用した分散剤 溶液濃度、溶液添加量		
				記号			



0.005	0.075	0.250	0.850	2	4.75	19	75
粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫

調査件名 **新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務** 試験年月日 **令和2年 11月25日**

試験者 **河野弘之**

試料番号（深さ） **3-2 (2.15m ~ 2.45m)**

液性限界試験

落下回数 **36 32 26**

含水比	容器No.	507	219	526
	m _a g	26.155	26.799	27.799
	m _b g	23.805	24.638	24.865
	m _c g	18.353	19.686	18.325
	w %	43.1	43.6	44.9

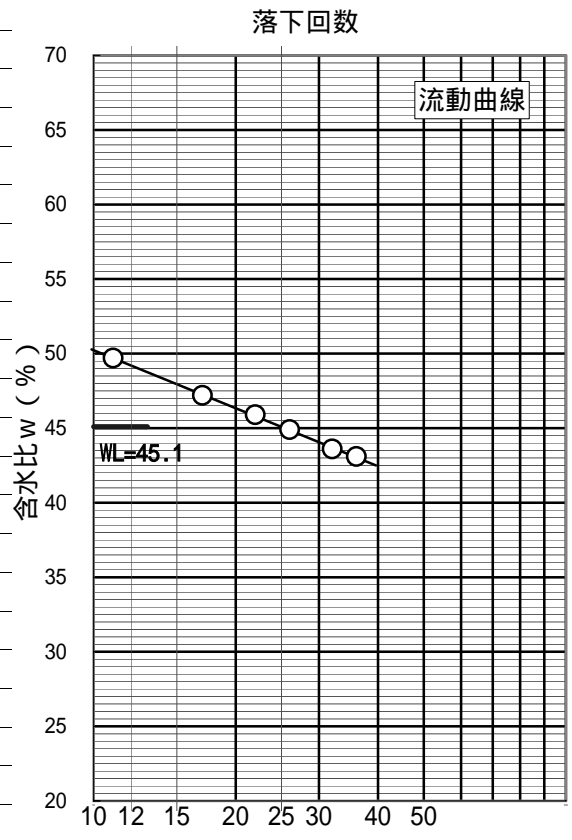
落下回数 **22 17 11**

含水比	容器No.	136	523	419
	m _a g	27.523	27.938	27.463
	m _b g	25.106	25.364	24.436
	m _c g	19.839	19.914	18.345
	w %	45.9	47.2	49.7

塑性限界試験

含水比	容器No.	134	412	155
	m _a g	29.597	29.966	28.311
	m _b g	27.333	27.643	26.393
	m _c g	17.937	18.123	18.369
	w %	24.1	24.4	23.9

液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p
45.1	24.1	21.0



試料番号（深さ） **3-4 (4.15m ~ 4.45m)**

液性限界試験

落下回数 **含水変化により
落下回数25回以上の測点を
得られませんでした。**

含水比	容器No.			
	m _a g			
	m _b g			
	m _c g			
	w %			

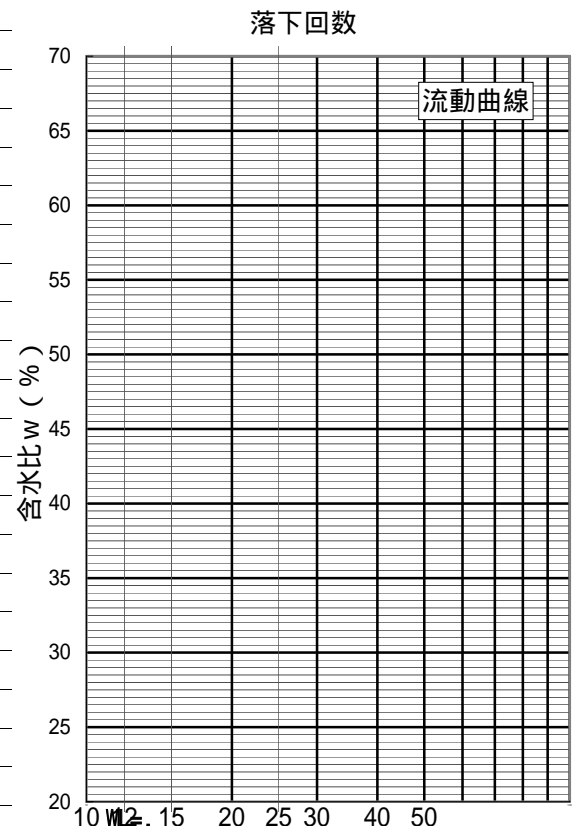
落下回数

含水比	容器No.			
	m _a g			
	m _b g			
	m _c g			
	w %			

塑性限界試験

含水比	容器No.	直径3mmのひも状に なりませんでした。		
	m _a g			
	m _b g			
	m _c g			
	w %			

液性限界	塑性限界	塑性指数
N P	N P	---

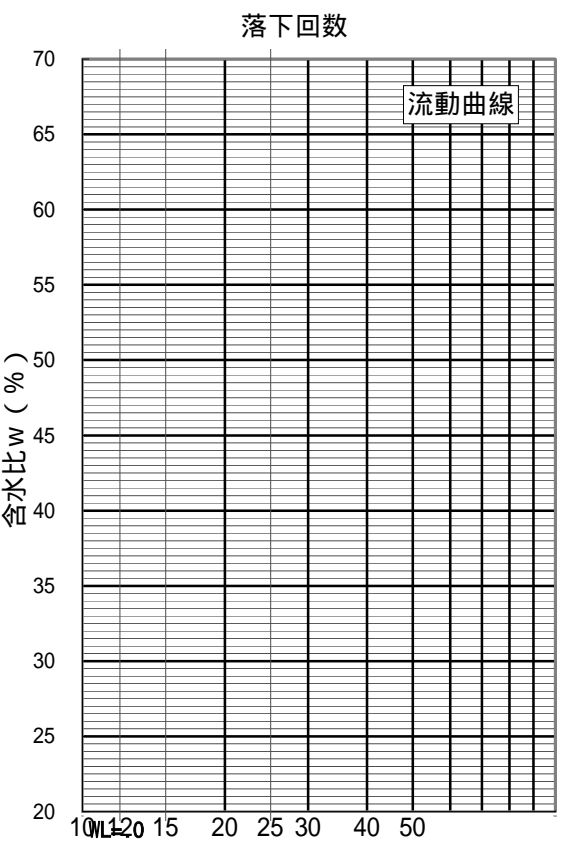


特記事項

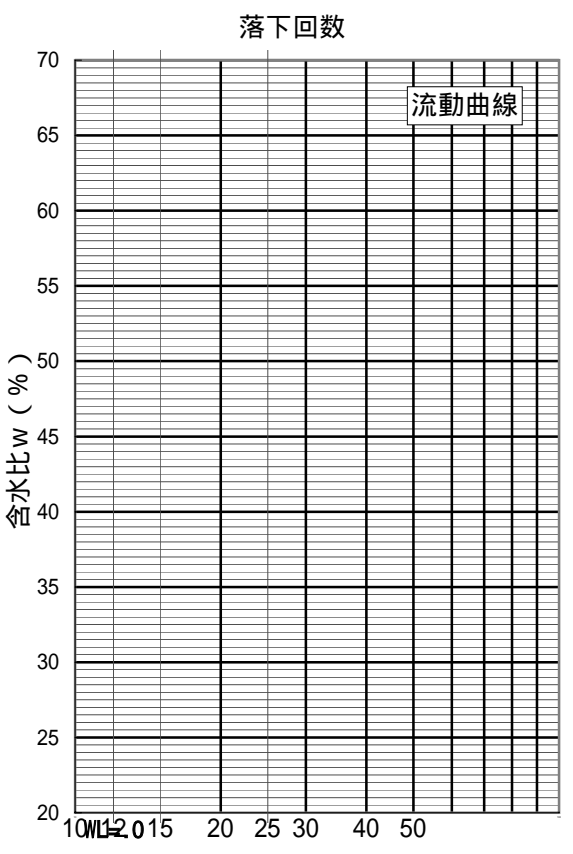
調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務 試験年月日 令和2年 11月25日

試験者 河野弘之

試料番号（深さ）		3-11 (11.15m~11.45m)	
液性限界試験			
落下回数		含水変化により 落下回数25回以上の測点を 得られませんでした。	
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
落下回数			
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
塑性限界試験			
含水比	容器No.	直径3mmのひも状に なりませんでした。	
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
液性限界	w _L %	塑性限界	w _P %
	N P		N P
		塑性指数 I _p	



試料番号（深さ）		3-18 (18.15m~18.45m)	
液性限界試験			
落下回数		含水変化により 落下回数25回以上の測点を 得られませんでした。	
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
落下回数			
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
塑性限界試験			
含水比	容器No.	直径3mmのひも状に なりませんでした。	
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
	w %		
液性限界		塑性限界	
	N P		N P
		塑性指数	



特記事項

調査件名 新西部学校給食センタ - 造成用地調査業務

試験年月日

令和2年 11月25日

試験者

河野弘之

試料番号（深さ） 3-19 (19.15m~19.45m)

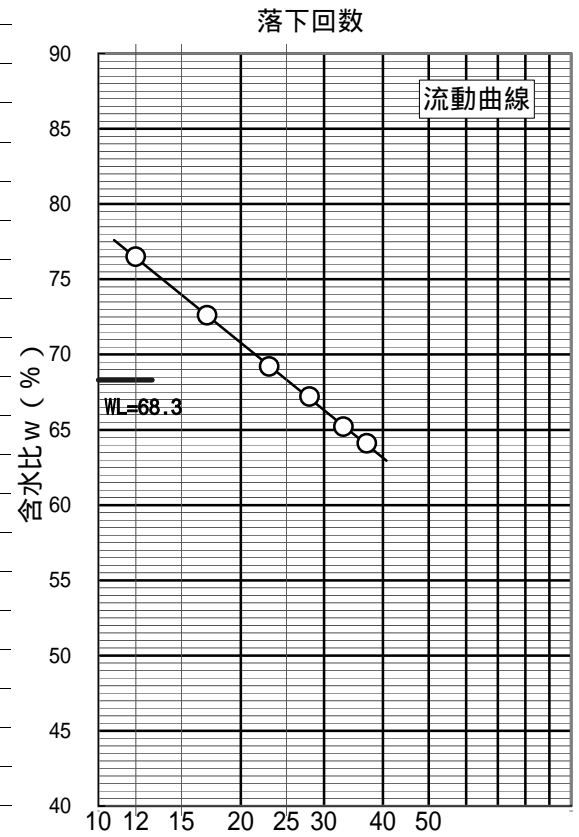
液性限界試験

落下回数		37	33	28
含水比	容器No.	516	506	141
	m _a g	25.108	25.140	25.943
	m _b g	22.393	22.679	22.929
	m _c g	18.158	18.907	18.443
w %	64.1	65.2	67.2	
落下回数		23	17	12
含水比	容器No.	511	524	122
	m _a g	26.511	26.641	25.670
	m _b g	23.199	23.492	22.438
	m _c g	18.414	19.152	18.213
w %	69.2	72.6	76.5	

塑性限界試験

含水比	容器No.	201	339	174
	m _a g	28.738	28.720	28.330
	m _b g	25.808	26.130	25.468
	m _c g	18.410	19.623	18.204
w %	39.6	39.8	39.4	

液性限界 w _L %	塑性限界 w _P %	塑性指数 I _P
68.3	39.6	28.7



試料番号（深さ）

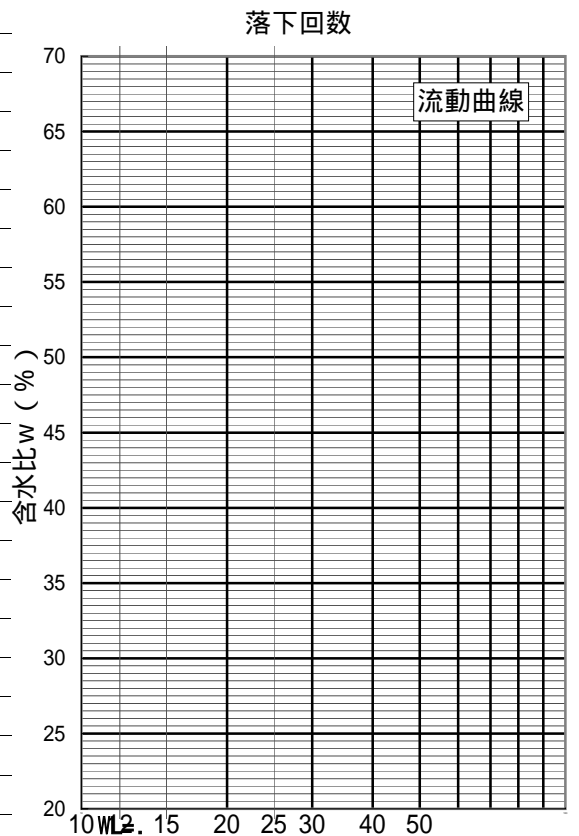
液性限界試験

落下回数			
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
w %			
落下回数			
含水比	容器No.		
	m _a g		
	m _b g		
	m _c g		
w %			

塑性限界試験

含水比	容器No.			
	m _a g			
	m _b g			
	m _c g			
w %				

液性限界	塑性限界	塑性指数
------	------	------



特記事項

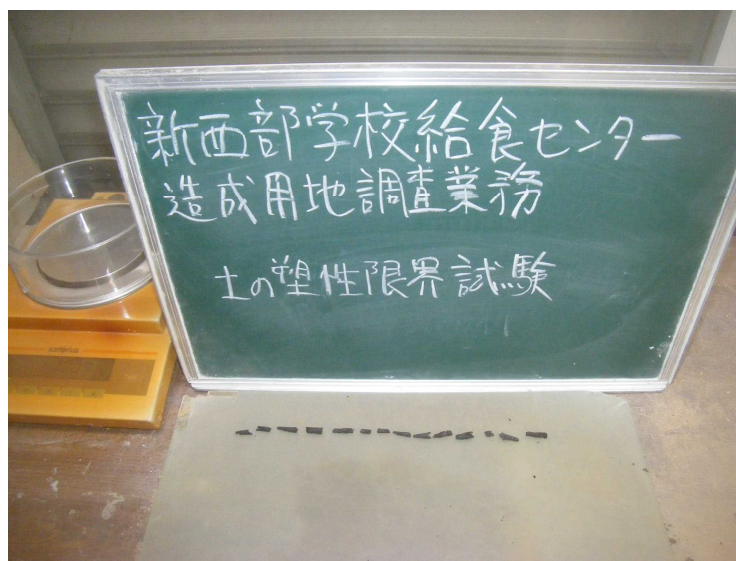
室内土質試験写真



土の粒度試験
フルイ分析



土の液性限界試験



土の塑性限界試験